

令和3年6月24日
文教福祉常任委員会資料
教育部生涯学習課

令和2年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、
別紙のとおり報告いたします。

令和2年度 事業報告書

令和3年5月21日

施設名	宇治市総合野外活動センター
団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表者名	代表理事 杉本 厚夫

(1) 業務実施状況報告(2年度)

【管理運営の方針と結果】
<p>近年の急激な社会情勢の変化の中で、自然とのふれあい・自然の中での交流など自然に対する関心が高まりつつあり、野外活動センターの果たす役割と期待は大きく、利用促進に向けた取り組みを実施した。</p> <p>また、公益財団法人宇治市野外活動センターとして以下の目標を掲げて施設運営にあたった。</p> <p>平成25年度に策定した長期運営計画をもとに、施設運営の成果や課題からも今後の施設運営方針を明確にし、計画に沿った事業展開に努めた。</p> <ol style="list-style-type: none">1: 公益法人としての自覚のもとに、宇治市総合野外活動センター(アクトパル宇治)の指定管理者として、お客様の声を大切にして事業を展開するとともに、効率的な施設運営と組織運営に努めます。2: 笠取地域の豊かな自然とのふれあい、自然の中での交流の場を提供するため、「ここでしかできない体験」を目指した各種体験事業を通じて市民のスローライフを支援します。3: お客様との関わり方を従来の参加型から参画型に広げていくために、SNSの活用や各種事業の改善を図り、お客様の意見を取り入れた事業展開を行います。4: 笠取地域との結びつきを深め、地域の中核施設として役割を果たすため、地域資源の開発と地元野菜などの直売所の具体化等、(有)笠取ファームとの連携を推進します。5: 教育活動実践の場、生涯スポーツ、交流の場として施設を活用していただけるよう、学校・関係機関とも連携しながら施設運営を行います。
【施設の平等利用の考え方と実施した対策】
<p>地方自治法をはじめ宇治市の関係条例を遵守するとともに、公益財団法人宇治市野外活動センターの各種規則等を遵守し、施設の公平、平等利用に努めた。</p>
【施設管理状況】1. 利用拡大の取組結果
[2年度の取組み] <ul style="list-style-type: none">・安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組んだ。(利用定員制限、手洗い場・消毒液の増設、入所時の体調・検温確認、館内放送での呼び掛け等)・新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛期間、施設休所期間には、ホームページに「おうちでたのしもう!」というコンテンツを掲載し、自宅で楽しんでいただけるプログラムの提供や施設のPRに努めた。・「GoTo キャンペーン」、「京都のお宿キャンペーン」、「宇治市のお店応援キャンペーン」の利用調整を図った。・営業再開後も、京都府や旅行業協会のガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染症の予防対策を継続した。・「藍染めをやってみよう!」を新たに企画した。・(有)笠取ファームと共同で、「グラウンド・ゴルフ&鍋焼きうどん」プランを販売した。

・「アクトパル秋まつり」は、密を避けるためイベントの規模を縮小し、「アクトパル秋のひろば」として実施回数を増やして2日間実施した。

・「アウトドアクッキング」は応募多数のため日程を1日追加した。

[元年度の取組み]

・開所20周年記念として、感謝祭やクラウドファンディング、シンポジウム、記念誌発行といった新規事業に取り組んだ。

① 幼児向け遊具設置をめざして支援を募ったクラウドファンディングでは、目標の50万円を大きく上回る78万1千円の支援を集めた。

② 生涯学習センターを会場に開催したシンポジウムでは、フリーアナウンサーの藤田瞳氏を講師に招き、「健幸(well-being)」をキーワードに参加者とお話しいただいた。

・「陶器のランタンづくり」イベントを新たに実施した。

[30年度の取組み]

・宿泊棟空調機器改修工事の実施にあわせ、宿泊施設の小修繕(障子やカーテン)を実施した。

・施設内の空地にラインを敷設し、駐車場を増設した。

・「アクトパルであそぼう！」でマルシェを開催した。

・「アクトパル de サバイバル」イベントを新たに実施した。

・応募者の多いイベントはできるだけ定員を増やして実施した。

[継続的な取組み]

1. 屋内施設においては、清潔な空間を維持できるよう施設管理を行った。

・施設の各所に季節ごとの自然の草花等を配置し、清楚感を取り入れ日々の清掃にも注意を払った。

2. 屋外施設については、自然環境を大切に、自然と一体となった施設管理を行った。

3. 施設を有効に活用した事業、ならびに自然やふるさとを体験できる事業を開催した。

・「お茶つみ体験&茶団子作り」「ふるさとを味わおう!」「星空観察とホタル」等の事業を実施した。

4. 気軽に参加できるフリーな事業や、利用の減少する冬期に多くの事業を開催した。

・無料で天体望遠鏡での星空観察ができる「星空オープンデー」を開催した。

・「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」を冬期に実施した。

・「アクトパル春まつり」「アクトパル秋まつり」「アクトパルであそぼう」等の無料イベントで施設のPRを図った。(令和2年度は一部内容を変更または中止した。)

5. 農業体験など、地域の農業や自然を取り入れた事業を開催した。

・「お茶つみ体験」「ふるさと体験(稲刈り、栗拾い、しいたけ菌打ち、餅つき体験)」「じゃがいも掘り」「さつまいも掘り」等を企画した。(令和2年度一部中止)

6. 宇治市総合野外活動センター主催のグラウンド・ゴルフ大会を月例で開催した。(令和2年度一部中止)

7. 様々な利用形態の受け入れ。

・宇治を舞台にしたアニメ「響け! ユーフォニアム」の影響で来場される方向けに、案内ポスター等を設置した。

・ドローン講習会の会場として広場の使用を許可した。

・結婚式、披露宴の会場として施設をご利用いただけるよう案内した。

・キャンプファイア一場を能楽(薪火能)の舞台としてご利用いただいた。

【施設管理状況】2. 広報実施結果

1. 宇治市「市政だより」へのイベント開催予定の掲載をした。
2. 新聞各社へ自主事業等の掲載を依頼した。
3. FMうじ「宇治市探検」でイベント、施設紹介をした。
4. 宇治市総合野外活動センターのホームページにより、宿泊等予約情報やイベント情報案内の配信をした。
5. メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。(イベント参加者に対する次回イベントの通知)令和3年3月現在登録者数約3,300人
6. 雑誌等の取材に積極的に協力し、『まっふる』『ファミリーウォーカー』『じゃらん』『クルール』『ワイヤーママ』『Leaf』等に施設紹介記事が掲載された。
7. 「観光宇治」(宇治市観光協会発行)にイベント情報を掲載した。
8. SNS(Facebook、Instagram)、YouTube を利用して情報発信を行った。
9. KBS 京都や KCN 京都のテレビ番組取材に協力し、施設を PR した。

【施設管理状況】3. 職員配置状況

- | | |
|---------------|----|
| 1. 財団事務局長 | 1人 |
| 2. 財団職員 | 3人 |
| 3. 財団嘱託(常勤) | 7人 |
| 4. 財団管理嘱託(宿直) | 4人 |
| 5. 臨時職員 | 7人 |

【施設管理状況】4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携結果

1. 地域:地域との交流、連携、貢献を大切に、地域振興の拠点となるよう努力した。
 - ・「アクトパル秋のひろば」で「地元農家」「市内障害者施設(手作り小物)」「宮崎陶芸工房(陶芸作品)」等に協力を仰ぎ、イベントに出店していただいた。
2. 関係機関:市内の小中学校ならびに幼稚園、保育所との連携に努めた。
 - ・市内各小学校の「林間学習」を効率よく実施するため、代表校と日程の調整をした。
 - ・笠取小学校の授業や自然観察活動の一環で、施設をご利用いただいた。
3. 団体:(有)笠取ファームと連携し、地域の活性化に努めた。
 - ・(有)笠取ファームに、宇治市総合野外活動センターの植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。また、食堂においては、これまで笠取ならではの料理として冬季限定の「笠取鍋」を提供していたが、コロナ対策として代わりに一人用鍋で「鍋焼きうどん」「釜めし」を新たに提供した。また、食堂の感染防止対策として、定員数の縮小(約半数)や定期的な換気、手洗い消毒の励行、カウンターに飛沫防止シートを設置するなど感染防止対策を実施した。
4. 登録団体等:ボランティア団体等の活動を支援し、宇治市総合野外活動センターの特性をアピールした。
 - ・天体観察を天文ボランティアと協力し実施した。
 - ・「宇治市野外活動協会」との協働によるキャンプイベント「親子 de キャンプ」を実施した。
 - ・木工ボランティア「WOODY MATE UJI」の協力で、「夏休み親子工作デー」「冬の木工教室」を実施した。
5. 団体その他
 - ・大学生ボランティアの協力を得て、イベント(ちびっこキャンプ、ちびっこアウトドア)を計画したが、コロナの影響で中止となった。
 - ・eco ット宇治の活動に賛同し、秋のひろばに出展いただいた。また、「わいわいホリデー」でもブース出展を依頼した。

【施設管理状況】5. トラブル対応、防犯、防災対策状況

1. トラブル対応

お客様の安全を第一に考え、接客、施設管理に努め、注意事項の喚起、施設保全を図った。

- ・施設内にできたスズメバチの巣を駆除した。
- ・安全管理のため、要修繕箇所について、適宜修繕を行った。

2. 防犯対策

- ・職員の防犯に対する意識の向上に努めるとともに、夜間の施設内出入りについては極力無きようお客さまに協力をお願いした。
- ・玄関、受付等に防犯カメラを設置している。

3. 防災対策

- ・台風の接近時には、施設の安全点検や倒木撤去作業を行った。
- ・宇治東消防署の査察を受け、防火対策の確認を行った。
- ・日頃の点検を重視し、非常時に備え「災害対策体制」の確認を行った。
- ・火災を想定した自衛消防訓練を実施した。
- ・アスレチック遊具の安全点検を実施した。(年1回実施)
- ・防火設備法定点検を実施し、不良箇所の修繕を行った。(年2回実施)
- ・熱中症予防にチラシ配布や放送での呼びかけ、温湿度計の設置を行った。
- ・土砂災害警戒情報発令時は、危険箇所該当施設の利用を中止した。
- ・高温注意情報、光化学スモッグ、食中毒注意報発令時に、放送やチラシで注意喚起した。
- ・新型コロナウイルス感染症に備え、施設各所に消毒用アルコールスプレーを設置した。
- ・緊急事態宣言に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設の一部または全体の利用休止、利用制限の措置をとった。また、お客様には消毒、手洗いうがいの励行を呼びかけた。

【施設管理状況】6. 利用者要望の把握状況及び実施策

1. 日常の接客にあたり、会話を重視し、お客様の「声」を積極的に聴取した。

- ・カギ返却時の「ご利用に関するアンケート」に、意見を記入してもらい、参考にした。
- ・食堂メニューの改善要望に対して、(有)笠取ファームとの協議を行った。

2. 各種事業の実施後、アンケートを実施し、お客様の声を事業に反映した。

【サービス向上取組内容】

1. 清潔感あふれる施設管理に努めるため、屋内、屋外の清掃やゴミ拾いを積極的に実施した。

2. 言葉づかい、笑顔など、接客マナーの向上に対して、お客様との会話を重視するとともに、対応には「あいさつ」を欠かさないよう努めた。

3. (有)笠取ファームとの連携を密にし、地元と一体となったサービスとして、笠取の食文化、人情に触れる機会を多くするため、「餅つき」等の食をテーマにしたイベントを実施した。

4. 各種イベントの申込み方法について、FAX・はがき以外にインターネットの申込フォームからも申し込みできるようにしている。

5. ホームページ上で、施設予約状況を公開した。また、メール、SNS を使って施設の最新情報を発信した。

【管理経費縮減の具体策と結果】

1. 経常経費の縮減について

- ・こまめに電気を切り、お客様に対してもポスター等で節電・節水を呼びかけるなど、光熱水費の縮減に努めた。
- ・電話通話料割引サービスに加入し、通信コストの削減に努めた。
- ・電気コスト削減のため、一部施設(宿泊棟)の電球をLED化した。
- ・電気コスト削減に向け、高圧電力を比較し、料金の安い電力会社と契約した。
- ・緑のカーテン(ゴーヤ)を設置し、クーラーの利用の縮減に努めた。

2. 低コストの追求について

- ・利用頻度を考慮して、貸出備品を見直し、内容を整理して、維持コストの削減・作業の効率化を図った。
- ・値動き幅の大きい灯油は、2か月ごとの契約更新とし、価格変動に対応している。

【管理能力】職員研修計画と実施状況

1. 職員研修の実施

- ・全国青少年教育施設長会議
- ・公益法人向けセミナー(経理、法改正対応)
- ・日常研修:毎朝のミーティング時に実施

2. 職員取得資格

- ・危険物取扱者免状 3人
- ・甲種防火管理講習修了証保有者 2人
- ・学芸員資格 1人
- ・保育士資格 1人

【個人情報保護措置と実施状況】

「宇治市個人情報保護条例」の趣旨を踏まえた、「公益財団法人宇治市野外活動センター個人情報保護規則」に基づき、個人情報の厳重な管理を行った。

- ①職員ミーティングの中で、個人情報保護の重要性を説き、体制の強化を図った。
- ②業務で使用するパソコンについて、業務終了後は保管場所への収納を徹底した。
- ③メールアドレス登録者の情報管理の徹底に努めた。
- ④インターネットからのイベント申込情報については、暗号化処理を施した。
- ⑤令和2年度においては、個人情報の開示請求はなし。
- ⑥提供されたマイナンバーは厳重に管理した。

【情報公開対応と実施状況】

「公益財団法人宇治市野外活動センター情報公開規則」に基づき、保有情報の公開に対処した。

1. 資料の閲覧として事務所に備え置いた業務及び財務等に関する資料を、一般の閲覧にすべて供することができるようにしている。
2. 令和2年度においては、情報公開の請求はなし。

【その他】

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、臨時休所、事業の中止・変更、感染症の予防対策等の対応を行った。

(2)施設利用状況報告(2年度)

【施設利用状況】1. 入館(場)者数

緊急事態宣言による4～5月の臨時休所等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全体的に利用が減少した。特に、宿泊利用は前年度比73%減と大きく減少したが、一方で、野外活動の利用が増加傾向にあり、日帰り利用は前年度比19%減にとどまった。

平成29～令和2年度 利用者数 (単位:人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
宿泊利用	35,133	32,600	30,787	8,401
日帰り利用	66,390	65,743	66,178	53,732
合計	101,523	98,343	96,965	62,133

【施設利用状況】2. 貸館状況

平成29～令和2年度 施設別利用者数 (単位:人)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
宿泊施設	管理棟宿泊室	2,464	2,614	2,191	1,215
	宿泊棟宿泊室	27,457	25,265	23,745	4,893
	テント(フリーテントサイト 日帰り利用者含む)	3,861	3,375	3,605	1,749
	山の家	1,573	1,516	1,271	875
その他施設	研修室	12,161	12,416	9,964	1,815
	体育館	19,587	19,198	16,723	5,896
	天体観察室	4,703	4,617	3,153	916
	工作棟	9,248	9,388	9,221	5,037
	野外炊事棟	29,445	27,930	25,718	12,555
	グラウンド・ゴルフ場	5,037	5,663	5,934	4,270

(3)管理経費収支状況報告(2年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市総合野外活動センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの 指定管理料	59,454	55,416	宇治市総合野外活動センター 指定管理料	
収入合計(A)		59,454	55,416		
支出	人件費				
	事務費				
	管理費				
	事業費	59,454	55,416	修繕費 4,958 光熱水料費 8,746 燃料費 1,073 委託費 34,816 賃借料 2,660 その他 3,163	
	その他				
支出合計(B)		59,454	55,416		
収支(A)-(B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
 内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4)ー1 事業実施状況報告(2年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特になし		

(4)－2 事業収支状況報告(2年度)

団体名 公益財団法人 宇治市野外活動センター
(単位:千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり参加 費	収 支 (A)－(B)	収入		支出(B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講 師 謝 金	材 料 費 等	そ の 他
特になし							
計							

※ 各欄上段＝予定額、下段＝実績で記入すること